

# ようご



## あいさつ

会長 中沢亮子

東日本大震災後の混乱の中、平成23年6月より2年間、福士典子会長率いる前事務局は、震災復興のために多くのエネルギーを注ぎ、同年7月には「東日本大震災支援対策委員会」を発足させ、被災地区の養護教諭・子どもたちへの支援活動に取り組んでこられました。平成24年9月には「東日本大震災支援対策委員会」のホームページを開設。会の支援活動状況を会員に提供し、情報の発信を行ってきました。現在は、本部会のホームページとして、部会の様々な情報を会員に提供し、会員同士の共有を図っております。さらに平成25年2月には「東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集」を発刊し、県内各校とご支援いただいた全国養護教諭連絡協議会事務局様始め加盟50団体様等にお届けしお読みいただきました。

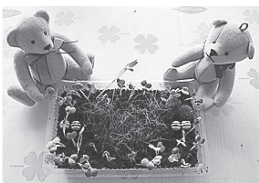
今年度の事業として、復興支援に併せて、第6回実践研究に関する研修会が9月28日に行われました。昨年度に引き続き岩手県立大学看護学部准教授井上都之先生より「実践に生かせる統計処理の基礎を学ぶ」とのテーマでご指導いただきました研修を深めることができました。また、11月22日には第37回岩手県養護教諭研究大会が開催されました。テーマを「時代の変化に対応した養護教諭の役割と専門性の追求」とし、午前は埼玉大学教育学部教授戸部秀之先生をお招きし「子どもたちの生きる力を育む健康教育」というテーマでシンポジウムを開催する予定です。複雑化、深刻化する現代の子どもたちの健康課題を見据え、子どもたちの健やかな成長を支えるための教育実践について研究協議を行い、養護教諭のありべき姿を追求したいと思えます。終わりに、今後も本会は健康教育推進のために研究や研修を充実させ、情報発信するよう努めていきたいと考えております。会員の皆様には引き続きご協力とご支援をお願い申し上げます。

## 《東日本大震災支援対策委員会より》

東日本大震災支援対策委員長 岩崎紀子

東日本大震災支援対策委員会が設置されて3年目を迎えました。昨年度は東日本大震災にかかわる養護教諭の実践報告集「2011・3・11 明日へつなぐ」とき いのち ころろ」を発刊することができました。大変ありがとうございました。この報告集は、本委員会ですべての学校の他、これまでご支援をいただいた県内各関係機関や、全国養護教諭連絡協議会、全国学校保健・養護教諭担当指導主事会を通じてご支援をいただいた各団体の皆様、そして個人の方々もお届けいたしました。県内はもちろんです。県外の皆様から感謝や励ましのお言葉などたくさんのお返事をいただきました。いただいたお手紙の中には、「報告集執筆者である養護教諭個人が、困難な状況下でどのように対応してきたのか」が克明に記録されており、記録として残すことの意義や執筆に対しての深い敬意の言葉が綴られているものもありました。

また、県内内陸で、げせんちゃんマニュアルを参考にし、独自のマニュアル作りを手掛けている例もあります。その地区のように、それぞれの地域や学校の実態に合ったものを作成していただけたら、この報告集は大変意味のあるものになると思います。資料編として報告集に添付しましたCD-Rも併せて、ぜひ積極的な活用をしていただきたいと思います。今年度は、岩手県内の養護教諭が震災の経験から知り得たことを職務に活かしていくため、「現場の声」を把握する活動を進めているところです。学校の変化や地域の復興の様子は、内陸から沿岸に、または沿岸から内陸に異動された方、新しく採用されて沿岸へ赴任された方、それぞれの立場で違った思いを受けていると思います。震災から3年が経過しようとしています。この先、体験を風化させることなく明日へつなげるために、本委員会にどのような活動が求められるのか皆様の声を聞きながら活動を進めて参りたいと思っております。



県立大園芸療法（箱庭）より